

第7回の一流塾は、講師に一柳塾長と牧野明次氏(岩谷産業(株) 代表取締役社長)、懇親会の特別ゲストには茂木友三郎氏(キッコーマン(株) 取締役名誉会長 取締役会議長)をお迎えしました。



メントがありました。

第1部の講義は、一柳塾長から『元気と知恵の経営』と題した講演を行いました。一柳塾長は、今はパラダイムが変化し、予想もしないことが起きる先の見えない時代であり、このような世の中で競争に勝ち生き残っていくには「知恵」が大事であると説き、様々な事例を交えながら色々な視点で経営上のヒントとなる知恵について披露しました。また、良い経営者が持っている3つの要素についても触れ、過去や他人は変えられないが、未来と自分は変えられると説き、塾生を激励しました。塾生からは「良い経営者の3つの資質について大変感銘を受けた」、「大変わかりやすい講義で、多岐にわたって経営のヒントやアドバイスを頂き大変参考になりました」、「元気をもらえました」といったコメントがありました。



第2部の講義は、牧野氏から『労働組合委員長から経営トップへ -改革断行で未来を拓く-』と題した講演を頂きました。牧野氏は、労働組合委員長を経て経営トップへ就任するまでに至る経緯について、労々対立での戦いや、営業所や子会社の立て直しなど、現場で数々の修羅場を経験されたエピソード等を交えてご披露頂きました。また、創業者から指名され社長に就任してからも手を休めずに行った改革断行についての秘話についても述べられ、経営者として命を張って会社を守るという気迫にあふれたお話を頂きました。

塾生からは、「戦略的な思考で冷静沈着な面もありながら、改革に対する情熱や命を張って会社を守るという気概に大変感銘を受けました」、「とてもパワフル感のあるお話で明日からの経営に力を頂けた」等の声があげられました。



また、講義後の懇親会では、特別ゲストの茂木友三郎氏から、最近の日本の政治経済情勢について卓話を頂きました。茂木氏は、2009年の政権交代以降の民主党の政権運営や野田政権に対する見方や、日本経済の活性化に向けて必要となる取組み等について、鋭い視点での分析を加えながら述べられました。

その後の懇談では、講師・ゲストと塾生との自由闊達な意見交換が行われ、大変盛り上がりました。

